



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

モリンガ茶を飲んで 島の子の支援に

シキホールセンทรัล 原田 淑人

私は、神奈川県平塚市の元小学校教員です。退職した後、「世界のどこかで私の三六年間の経験を生かせる場所を」と、フィリピン・シキホール島に住んで一三年になります。

ビーチリゾートを営みながら、島の子どものための教育環境改善のために活動しています。個人の力では限りがあるので、二〇〇九年に島の友人たちとシキホールセンทรัล・ロータリークラブ(RC)を創立。クラブを立ち上げ



訪れたある学校では、日の丸の旗で歓迎してくれました

て本当によかったと実感しています。今までに、第二七八〇地区、第二七〇〇地区など日本のロータリーの協力により、四五の学校に一二〇基のトイレを、六つの村と一〇の学校に水タンクを設置し、また毎年、一〇人の奨学生をカレッジに進学させています。

こういった活動が認められ、二〇一三年には「シキホール島日本親善大使」を拝命しました。一六年、私も協力した第二七八〇地区・平塚湘南RCの一〇年にわたる水支援事業（本誌二〇一六年三月号横組み二〇〜二一ページ参照）などに対しては、ベニグノ・アキノ大統領から感謝状もいただきました。

さて、シキホール島には奇跡の木、命の木と言われるモリンガが生えています。このモリンガは、世界最古の伝統医学と称されるインドのアーユルヴェーダでも有効な植物として使われ、WFP（世界食糧計画）でも認証されてい

ます。その驚異の栄養素のために体力増強、免疫力アップ、血圧安定、便秘解消、生活習慣病予防などに効果があるといわれています。

島では野菜がほとんど採れません。そこで、庭先にあるモリンガをスープに入れて毎日のように食べているからでしょうか、シキホール島は平均寿命五〇歳ほどなのですが、その中で八〇〜九〇歳まで生きる人たちがいます。

島中の学校に、子どもたちの手でモリンガを植えてもらっています。種でも植えていますが、切った枝を挿すだけで芽が出てきます。このモリンガをお茶に加工して販売し、島の子どもたちを支援する基金を計画しました。基金は子どもたちを進学させたり、トイレを作り、井戸を掘るために使われます。

モリンガ茶を飲んで健康を維持しながら、島の子の夢をかなえられるこのプロジェクトを応援してください。ヨーグルトに混ぜたり、グリーンスムージー、パンケーキに入れたりしてもおいしくいただけます。アルコールのお好きな方は酎ハイでお試しく下さい。お問い合わせは moringangeltea-siquijor@yahoo.co.jp まで。

（第三八六〇地区 フィリピン ホテル経営）